

新居浜工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	医療福祉工学概論	
科目基礎情報							
科目番号	121588			科目区分	専門 / 自由選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気情報工学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	配布プリント						
担当教員	吉川 貴士,平野 雅嗣,鈴木 裕一						
到達目標							
1. 日本の社会保障制度を理解し、応用できる 2. 認知症などの疾患症状を理解し、それらに伴う社会問題を解決するために配慮すべきことを認識できる 3. バイオフィードバックの概念を理解し、応用できる 4. 福祉・医療機器のものづくりにおける仕様書・品質保証について理解し、適用できる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	社会保障制度を理解し、応用できる		日本の社会保障制度を理解できる		日本の社会保障制度を理解できない		
評価項目2	認知症などの疾患症状を理解し、配慮できる		認知症などの疾患症状を理解することができる		認知症などの疾患症状を理解することができない		
評価項目3	バイオフィードバックの概念を理解し、応用できる		バイオフィードバックの概念を理解できる		バイオフィードバックの概念を理解できない		
評価項目4	福祉・医療機器のものづくりにおける仕様書・品質保証について理解し、適用できる		福祉・医療機器のものづくりにおける仕様書・品質保証について理解できる		福祉・医療機器のものづくりにおける仕様書・品質保証について理解できない		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	公衆の健康や安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識し、ものづくりでできるための基礎知識を学ぶ						
授業の進め方・方法	座学						
注意点	本講義内容は、福祉論、解剖学なども少し含みます。日本社会や人体などについて、アンテナを張り巡らせて受講してください。また、本科目は「アシスティブテクノロジー基礎」と連携しています。						
本科目の区分							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス				
		2週	社会保障制度と福祉用具の関連		1		
		3週	認知症の種類と症状		2		
		4週	認証患者との向き合い方		2		
		5週	脳卒中とその後遺症		2		
		6週	骨折・脊椎損傷による身体機能の制限		2		
		7週	フィードバックの基礎		3		
		8週	バイオフィードバックの応用		3		
	4thQ	9週	筋電図とその解釈		3		
		10週	動作解析の医療現場での活用		3		
		11週	アンケート解析における統計学的解釈		3		
		12週	メーカーが保障する品質とは		4		
		13週	仕様書のいろいろ		4		
		14週	取扱説明書の持つ意味		4		
		15週	試験				
		16週	まとめ				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	0	0	0	0	10	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	90	0	0	0	0	10	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0